

医療介護連携の仕組みづくり

在宅医療・介護連携相談支援室の
立ち上げから今後に向けて

自治体名：廿日市市

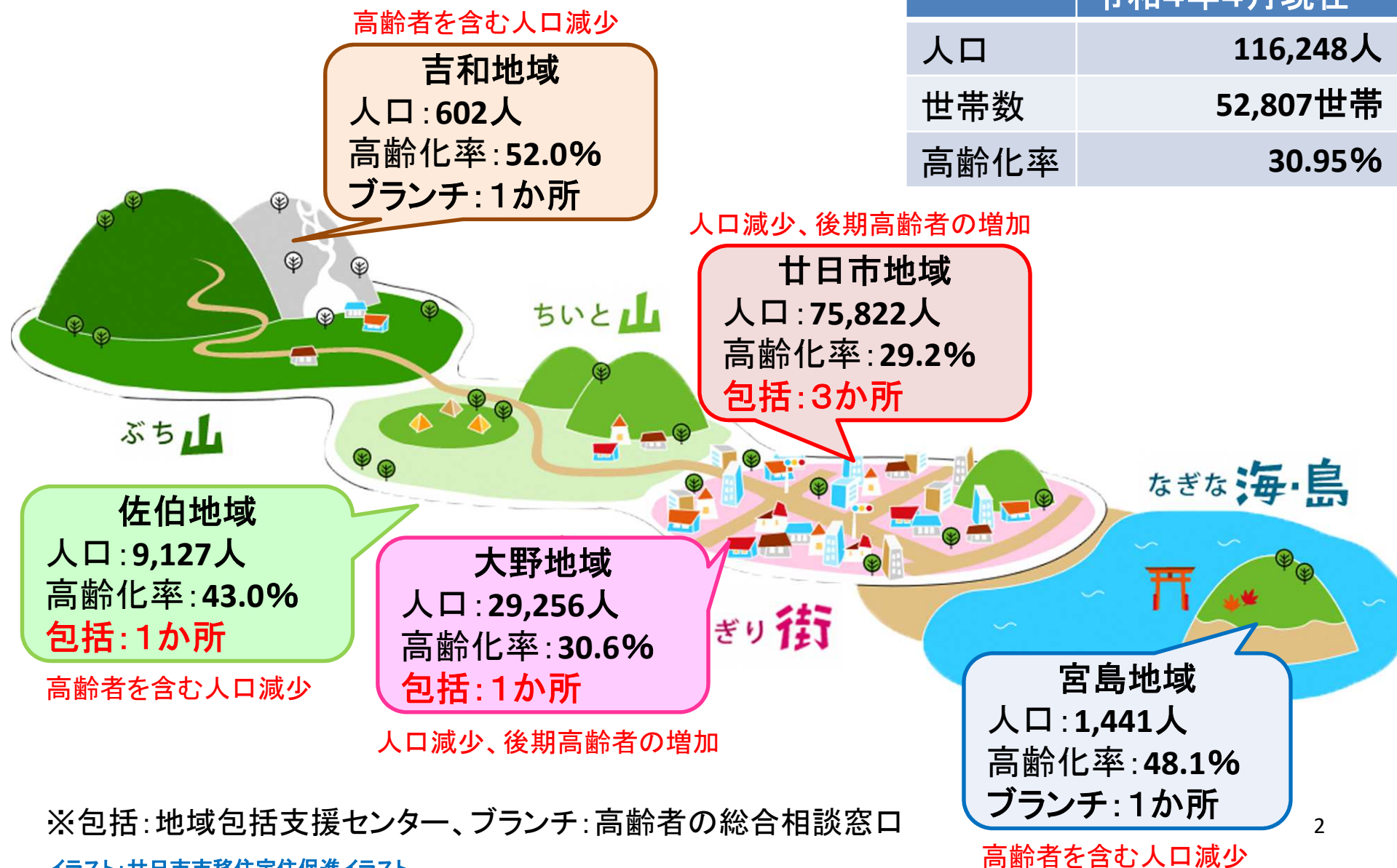
在宅医療・介護連携相談支援室

(NPO法人廿日市市五師士会)

発表者名：阿部 朱美

【基本情報】 基礎情報

| | 令和4年4月現在 |
|------|----------|
| 人口 | 116,248人 |
| 世帯数 | 52,807世帯 |
| 高齢化率 | 30.95% |



※包括: 地域包括支援センター、ブランチ: 高齡者の総合相談窓口

イラスト: 廿日市市移住定住促進イラスト

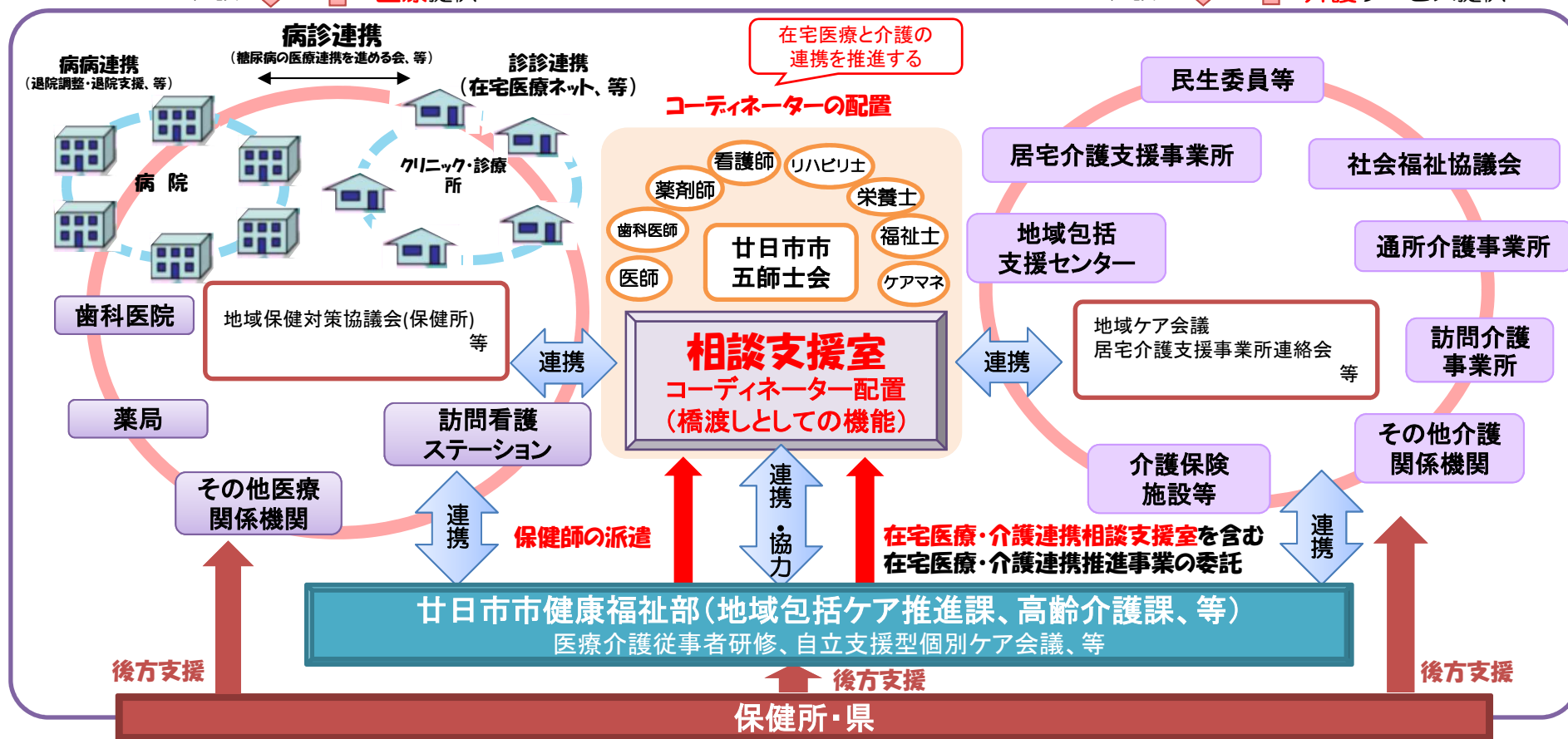
【基本情報】 取組概要

廿日市市 在宅医療・介護連携に関する相談支援室

市民(介護保険第1号被保険者及び第2号被保険者)及びその家族

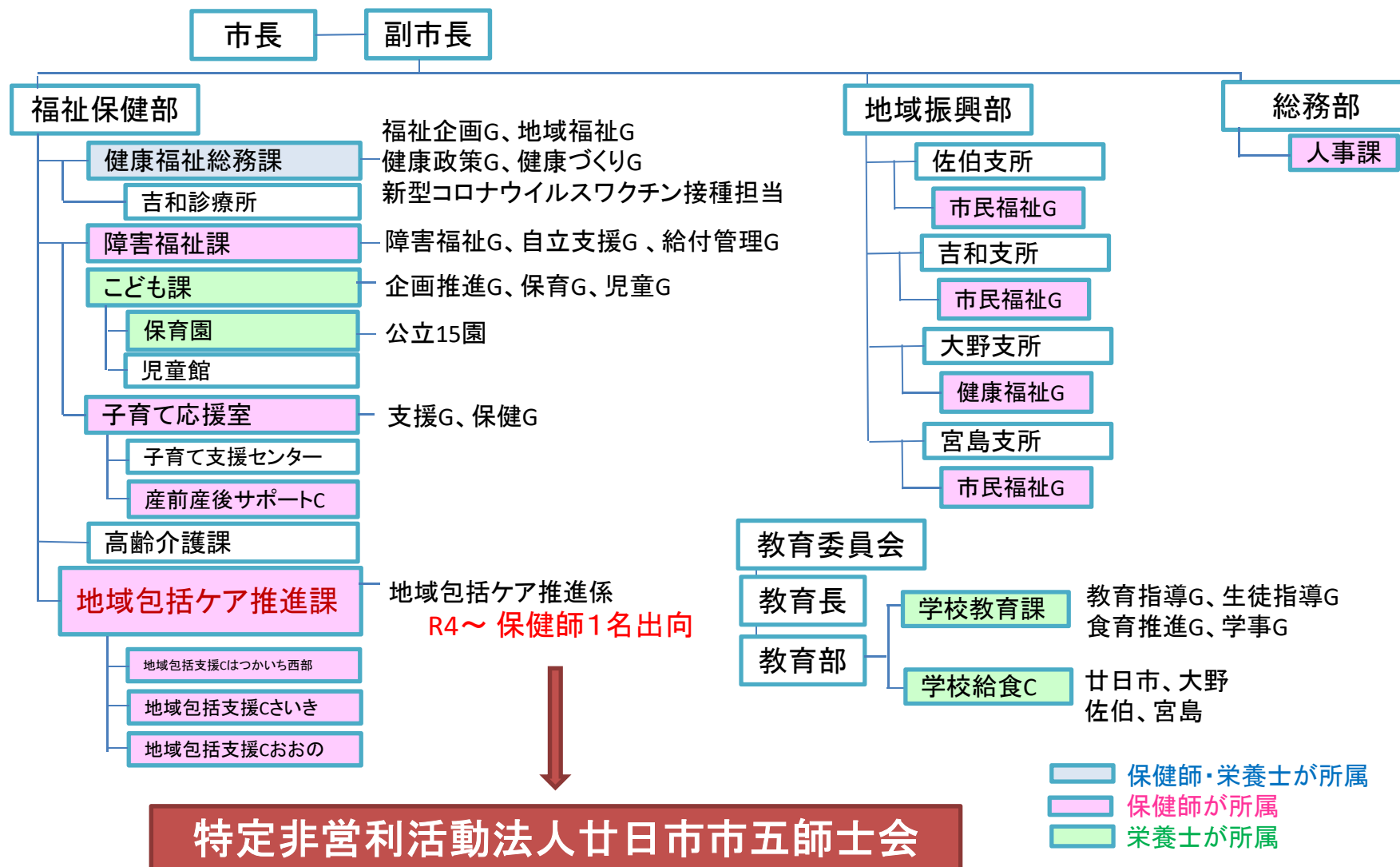
相談 ↓ ↑ 医療提供

相談 ↓ ↑ 介護サービス提供



【基本情報】 取組の実施体制(1)

行政組織機構図(健康福祉関係部門)



【基本情報】 取組の実施体制(2)

地域医療拠点整備事業

- 1階 産前産後サポートセンター
子育て支援センター
- 2階 地域包括支援センターはつかいち西部
特定非営利活動法人廿日市市五師士会
在宅医療・介護連携相談支援室

学研廿日市市多世代サポートセンター



【公開URL】 <http://h-goshi.org/Soudan>



コロナ流行時に在宅生活の
支援を継続するには？

8050問題…
どこにつなぐ？

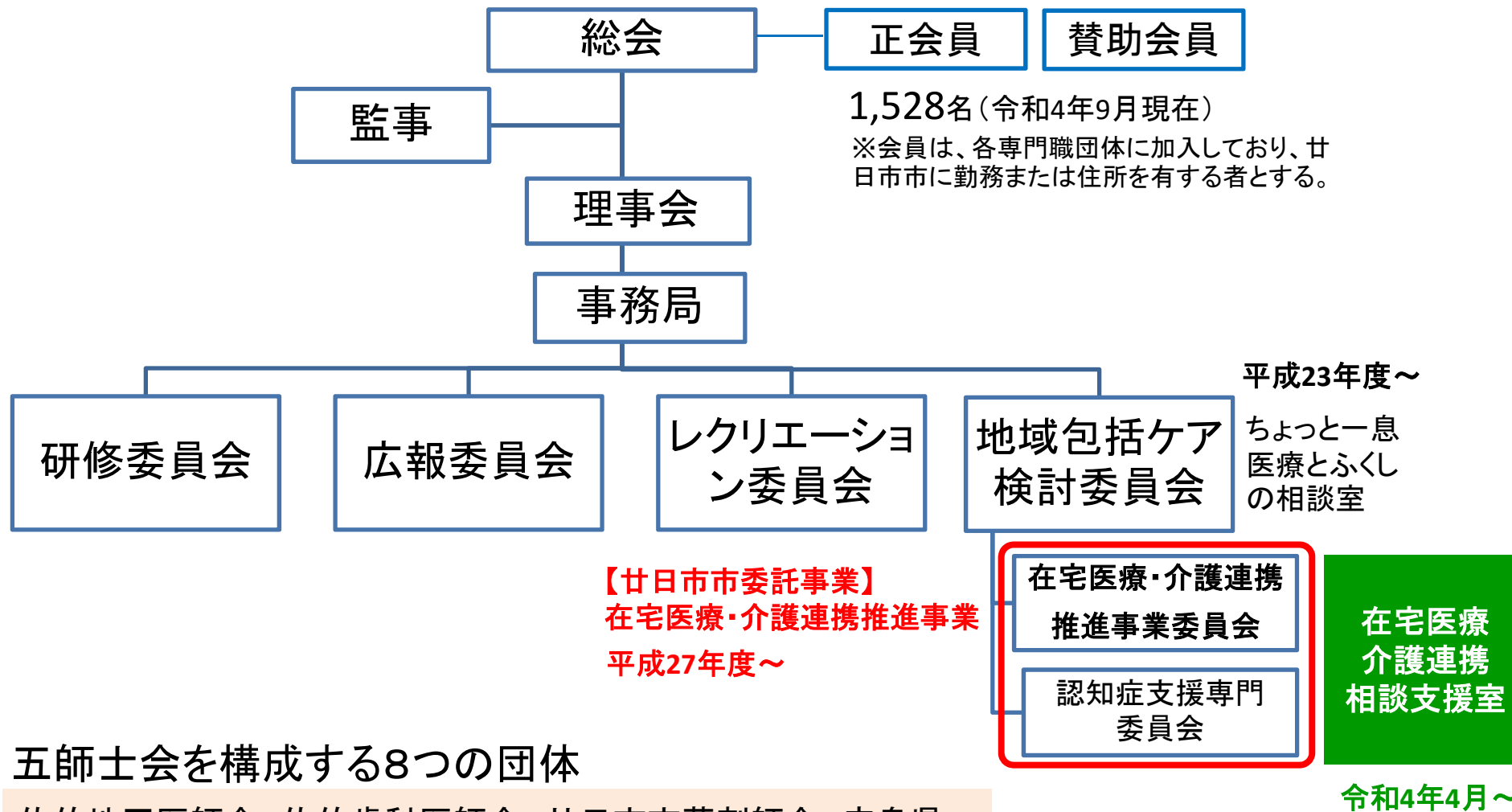
医療関係者や介護関係者からの 「相談窓口」



専門職間の
連携をサポート

【基本情報】 取組の実施体制(3)

特定非営利活動法人 廿日市市五師士会



五師士会を構成する8つの団体

佐伯地区医師会、佐伯歯科医師会、廿日市市薬剤師会、広島県看護協会廿日市支部、廿日市市福祉士会、リハビリ士会、廿日市市介護支援専門員連絡協議会、廿日市市栄養士会

【取組内容】 1. 取組の経緯(1)

| | 五師士会の活動経緯 |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| H17 | 「保健・医療・福祉にかかわる専門職が連携・協働し、互いの専門性を高めながら、地域住民が安心して暮らせる地域づくりに貢献すること」を目的に、五つの専門職団体(医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、福祉士会)が集結し、平成17年2月26日に 廿日市市五師士会 を設立(総会や研修会の開催、会報の発行を通して、地域包括ケア活動を展開) |
| H23 | 広島県のモデル事業を受諾し、地域住民の困りごと相談室として「 ちょっと一息 医療とふくしの相談室* 」を開設(理学療法士会入会→H28リハビリ士会) ※専門職が講師や相談員として参加する住民を対象とした相談室で、ミニ講座、相談事業、座談会の3部構成 |
| H24 | ヘルスサポートネット事業(市の補助事業) として「ちょっと一息 医療とふくしの相談室」を年間20回開催(介護支援専門員連絡協議会入会、H25栄養士会入会) |



ミニ講座や座談会



相談事業

【取組内容】 1. 取組の経緯(2)

| | 五師士会の活動経緯 | 在宅医療・介護連携推進事業 |
|-----|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| H27 | 平成27年12月17日に 特定非営利活動法人廿日市市五師士会 を設立 | 市の委託事業(在宅医療・介護連携推進事業)として、 在宅医療・介護連携推進事業委員会 と 認知症支援専門委員会 を設置 |
| H28 | 平成28年11月にエーザイ株式会社と「認知症とともに生きる地域づくり」に関する連携協定を締結 | 「 認知症の人の受診のための連携シート 」作成 「 困ったときの相談連絡先(情報シート) 」の作成 (H29民生員が高齢者へ配布) |
| H29 | | 「 お薬手帳カバー(情報共有ツール) 」の作成、配布 ※薬局で70歳以上の高齢者等へ配布、介護支援専門員等が訪問のとき配布 |
| R1 | | 「 看取りのパンフレット 」作成、配布(在宅療養支援病院・診療所、訪問看護ステーション、等) 「 人生会議(ACP)講演会 」の開催 |
| R2 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、「ちょっと一息 医療とふくしの相談室」の一部中止(7回開催) | 「 第1回人生会議サポーター養成研修会 」開催 |
| R3 | 「ちょっと一息 医療とふくしの相談室」の一部中止(2回開催) | |
| R4 | 「ちょっと一息 医療とふくしの相談室」年7回開催 | 在宅医療・介護連携相談支援室 の開設 「 第2回人生会議サポーター養成研修会 」開催 |

【取組内容】 2. 取組の展開(1)

在宅医療と介護連携に関するヒアリング調査の実施

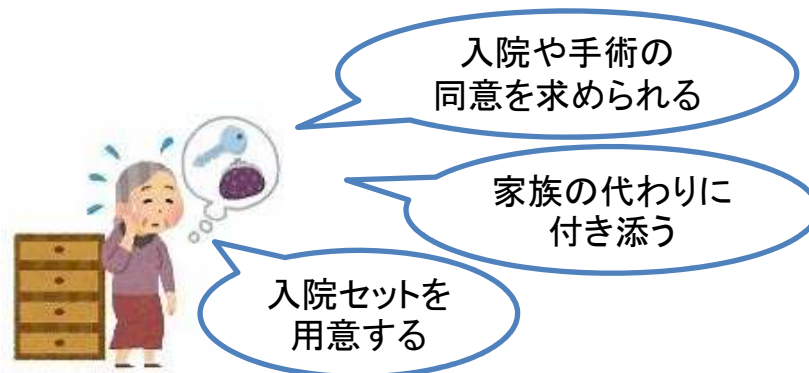
| | |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目的 | 市内の地域包括ケアを担う医療従事者及び介護従事者が、要介護者等を支援するときに、 多職種との連携や支援体制で疑問に感じていること、困っていることを明らかにすることを目的とした。 |
| 実施期間 | 令和4年5月～8月 |
| 対象 | 退院支援担当者を配置している病院(6か所中6か所) 在宅療養支援病院・診療所(22か所中6か所) 訪問歯科診療を行っている歯科医療機関(23か所中1か所) 訪問薬剤指導を行っている薬局(25か所中3か所) 訪問看護ステーション(18か所中14か所) 訪問介護事業所(29か所中2か所) 居宅介護支援事業所(35か所中5か所) <p style="text-align: right;">計37か所</p> |
| 分析方法 | 聞き取りした内容の中で類似した意見を、実態・課題・対策について、次のテーマごとにまとめた。 ①入退院支援 ②緊急時の支援 ③日常の療養支援 ④看取り |

【取組内容】 2. 取組の展開(2)

ヒアリングの結果 ①入退院支援

【入院支援における課題】

- 身近に家族がいない高齢者の入院準備や調整
⇒ ケアマネジャーの負担大



②緊急時の支援と合わせて対策を検討していく

【退院支援における課題】

- 感染症対策のため本人不在のカンファレンスを行うことによるサービス調整の難しさ (ケアマネ)
- 急な退院によるサービス調整 (ケアマネ・訪看)
- 医療依存度 (吸引や胃ろう、インスリン注射、等) が高い患者の退院調整 (地域医療連携室)

オンラインを活用した本人参加

退院サマリーの活用促進

退院前カンファレンスの徹底

- 家族の介護力のアセスメント
- 退院後の服薬管理
- 居宅系サービスに関する情報共有
- 療養に関する本人・家族・関係者間の合意

【取組内容】 2. 取組の展開(3)

①入退院支援

1. 課題の抽出

入退院支援における多職種連携

2. 検討体制

在宅医療・介護連携推進事業委員会の小委員会を設置
課題の整理、連絡会の準備、等(11月24日第1回開催)

3. 取組方針、対策の内容(予定)

入退院支援のルールづくり・共有

4. 実施状況の確認(予定)

入退院時連携ガイドラインの作成、連絡会の開催(R5~)

5. 評価・改善への取組(予定)

小委員会での振り返り
在宅医療・介護連携推進事業委員会で評価

【取組内容】 2. 取組の展開(4)

ヒアリングの結果 ②緊急時の支援(+入院支援)

【課題】

主治医への相談

在宅療養支援病院・診療所
病院(在宅療養支援病院を除く)

(地域医療連携室が窓口)

・・・ 地域によっては不足

・・・ 休日・夜間の対応が難しい

救急搬送



救急隊員(消防)
救命救急センター
救急外来
急性期病棟
地域医療連携室

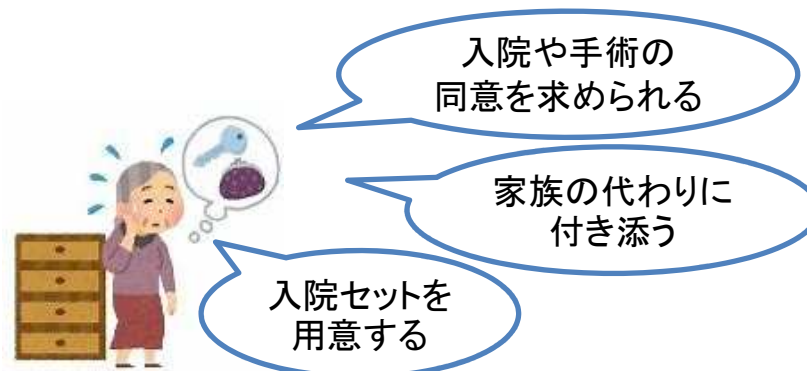
・搬送先が決まりにくい

・必要な情報の整理
⇒明確化⇒共有

【入院支援における課題】

- ・ 身近に家族がいない高齢者の入院準備や調整

⇒ケアマネジャーの負担大



【取組内容】 2. 取組の展開(5)

②緊急時の支援(+入院支援)

1. 課題の抽出

緊急時や入院時に必要な情報の整理、共有する仕組み
身近に家族がいない高齢者の入院準備や調整

2. 検討体制(予定)

「救急搬送について」をテーマにした地域ケア会議
(包括、消防、居宅、民生委員、救急外来、地域医療連携室、相談支援室)

3. 取組方針、対策の内容(予定)

課題の共有、それぞれの立場からの意見交換
⇒他の圏域での同じテーマの地域ケア会議を横展開

4. 実施状況の確認(予定)

地域包括支援センター所長会議で課題の共有
地域共生専門部会(地域ケア推進協議会)への提言検討

5. 評価・改善への取組(予定)

地域ケア会議での振り返り
在宅医療・介護連携推進事業委員会で評価

【取組内容】 2. 取組の展開(6)

ヒアリングの結果 ③日常の療養支援

| 課題 | 今後必要なこと |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 連携する専門職間の意見の相違 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門職の役割の明確化 ・顔の見える関係づくり⇒専門職の価値観の共有 |
| 介護職のスキルの差 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護職へのケアや予防に関する研修 <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策(PPE、ゾーニング、等) バイタルサインのチェック 医療依存度が高い人への介助 転倒予防を考慮した介助、食事に関する介助 |
| 認知症の人へのケアの難しさ | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の役割や居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターやチームオレンジとの連携 認知症カフェや通いの場の活用 ・早期発見・早期治療へつなぐ <ul style="list-style-type: none"> 物忘れ相談会の活用 認知症地域支援推進員との連携 認知症初期集中支援チームとの連携 |

地域ケア会議
 個別ケア会議
 研修会 …
 → 事例を通して
 発展させていく

要検討



↪ 市の認知症施策と共に…

【取組内容】 2. 取組の展開(7)

③ 日常の療養支援(介護職のスキル向上)

1. 課題の抽出

介護職のスキルに差がある

2. 検討体制

新型コロナウイルス感染症陽性者の在宅療養体制の検討
(西部保健所、高齢介護課、地域包括ケア推進課、障害福祉課、相談支援室)

3. 取組方針、対策の内容

新型コロナウイルス感染症流行下における訪問介護事業所等へのアンケート調査→陽性患者に訪問できる事業所の把握、研修の必要性

4. 実施状況の確認(予定)

在宅医療・介護関係職種連絡会(地域包括ケア推進課)
地域密着型サービス事業所等情報交換会(高齢介護課)
⇒アンケート結果の報告、EPPの研修、等

介護人材確保
介護職のネット
ワークづくり

5. 評価・改善への取組(予定)

感染症対策について西部保健所との振り返り
在宅医療・介護連携推進事業委員会で評価

【取組内容】 2. 取組の展開(8)

④看取り

医療依存度の大きい人や
状態が改善しない人への看取り

取組⇒強化

本人・家族への治療や療養の意向を把握
終末期に対する本人・家族の覚悟へのサポート
在宅看取りに関する関係機関の連携・協力体制

+

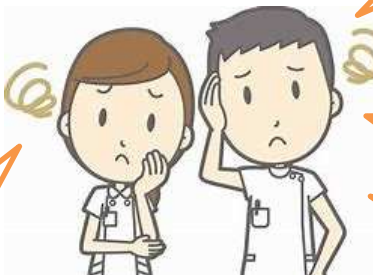
人生会議
(ACP)の
普及啓発

在宅看取りを希望されていても
在宅看取りをするだけの介護力がない

在宅看取りを希望されていても
救急車を呼ばれることがある

看取りの時期が近づくと、訪問介護より訪問看護の頻度が高くなる(ヘルパー、看護師)

専門職の
つぶやき



事業所を含め、本人、家族のACPについての認識が低い

退院後、1か月も経たないうちに亡くられるケースは、本人や家族との関係性も築けないまま、看取ることになる

麻薬の在庫管理が難しい(薬剤師)

【取組内容】 2. 取組の展開(9)

④看取り

1. 課題の抽出

人生会議(ACP)の認知度が低い
(R3市民アンケートより)人生会議を知っている人 13.2%

2. 検討体制

在宅医療・介護連携推進事業委員会

3. 取組方針、対策の内容(予定)

人生会議サポーター養成研修会 継続
人生会議サポーターの活動支援 検討中
人生会議サポーターフォローアップ研修(R5新規)
「もしバナゲーム」を活用した住民普及啓発



4. 実施状況の確認(予定)

市民センターで住民を対象とした人生会議(ACP)普及講座

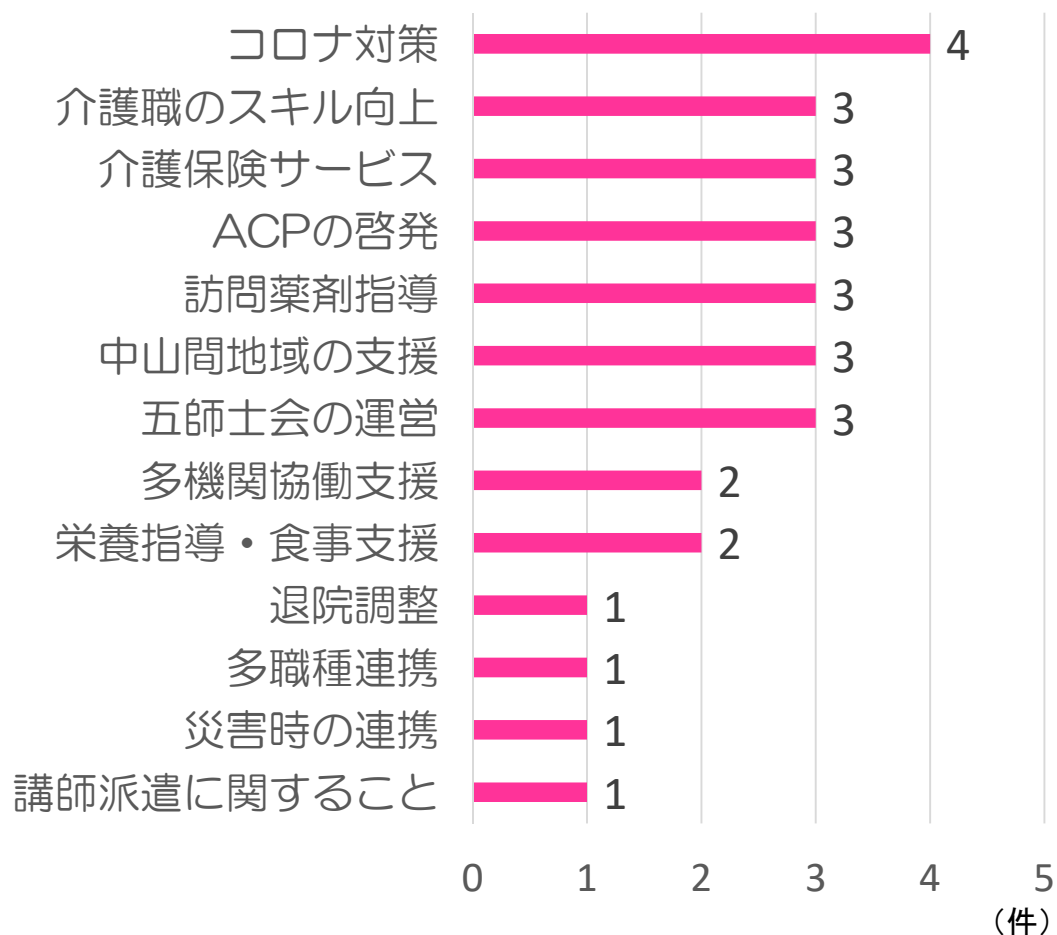
5. 評価・改善への取組(予定)

在宅医療・介護連携推進事業委員会で評価

【取組内容】 3. その他

在宅医療・介護連携に関する相談

主な相談内容と件数



相談件数:

32件(4月~11月末現在)

取組につながった相談内容:

(6例のうち1例)

・地域密着型サービス(定期巡回、看多機)の良さの伝わりにくさ

⇒地域包括支援センターと共催で研修を企画、実施

WEB形式(講演部分を後日オンデマンド配信)で開催

・講演1「訪問介護事業所等を対象とした感染症対策に関する調査報告」

・講演2「看護小規模多機能型居宅介護事業所の紹介」

・グループワーク

(対象)地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、在宅療養支援病院・診療所、地域医療連携室